

家畜衛生週報

ANIMAL HYGIENE WEEKLY

No.3884 農林水産省消費・安全局 畜水産安全管理課、動物衛生課 2025. 12. 26

・宮崎県日向市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内5例目）に係る移動制限の解除について……………	393
・兵庫県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内7例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	394
・香港向け家きん由来製品の輸出再開について（北海道）……………	396
・動物用医薬品副作用報告（令和7年11月）……………	397
・家畜衛生レポート（栃木県）……………	398

☆宮崎県日向市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内5例目）に係る移動制限の解除について

（令和7年12月15日付けプレスリリース）

宮崎県は、日向市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内5例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定されていた移動制限区域について、令和7年12月15日（月曜日）午前0時（12月14日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1. 経緯及び今後の予定

（1） 宮崎県は、令和7年11月22日に日向市の家き

ん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内5例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2） 宮崎県は、令和7年12月4日に発生農場の半径3kmから10km内の区域について設定していた搬出制限を解除しました。

（3） 今般、宮崎県は、国内5例目の防疫措置が完了した令和7年11月23日の翌日から起算して21日が経過する令和7年12月15日（月曜日）午前0時（12月14日（日曜日）24時）をもって、移動制限を解除しました。

2. その他

(1) 我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えています。

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html (外部リンク)

(2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、プライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。

(3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

3. 参考

- ・宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内5例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について
- ・宮崎県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

☆兵庫県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内7例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

(令和7年12月16日付けプレスリリース)

本日、兵庫県姫路市の家さん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内7例目）されました。これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認します。当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家さん等の移動を自粛しています。現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1. 農場の概要

所在地：兵庫県姫路市

飼養状況：約24万羽（採卵鶏）

2. 経緯

- (1) 令和7年12月15日（月曜日）、兵庫県は、同県姫路市の農場から、通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。
- (2) 同日、当該家さんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

- (3) 12月16日(火曜日)、当該農場の家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

3. 今後の対応方針

総理指示及び「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、次の措置について万全を期します。

1. 当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
2. 移動制限区域の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
3. 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
4. 政務と兵庫県との面会等により、兵庫県と緊密な連携を図る。
5. 必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。
6. 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、必要に応じ、農林水産省等の専門家を現地に派遣。
7. 兵庫県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、民間事業者の活用を促しつつ、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等

から「緊急支援チーム」を派遣。

8. 「疫学調査チーム」を派遣。
9. 全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を指導。
10. 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

4. 農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和7年12月16日(火曜日)(持ち回り開催)

5. その他

- (1) 我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。
https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html (外部リンク)
- (2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

☆香港向け家きん由来製品の輸出再開について
(北海道)
(令和7年12月17日付けプレスリリース)

本日、我が国の家きん由来製品の香港向け輸出について、北海道からの輸出が再開されましたのでお知らせします。

1. 概要

高病原性鳥インフルエンザによる我が国の家きん由来製品の輸出への影響をできる限り小さくするため、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港、シンガポール、ベトナム、マカオ及び米国当局については、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

一方、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた北海道からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

また、今回の協議により、香港向け輸出については、防疫措置完了から28日が経過した日（令和7年12月9日）に遡って、同日以降に生産・処理された家きん由来製品の輸出が認められたため、「同日以降に生産・処理された家きん由来製品」について、

輸出検疫証明書の交付が可能です。

なお、北海道からのベトナム、マカオ及び米国向けの家きん由来製品の輸出は再開済みです。

〈2024年の輸出額〉

鶏肉の総輸出額：24.8億円（うち、香港22.2億円）

鶏卵の総輸出額：71.1億円（うち、香港67.0億円）

出典：財務省「貿易統計」

〈これまでの経過〉

令和7年10月22日：北海道において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認
(北海道からの家きん由来製品の輸出が一時停止)

その後、11月2日に高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和7年12月9日：北海道は、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄地域となる

2. 参考

- ・令和7年度の鳥インフルエンザに関する情報については、以下のページよりご確認ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html

- ・各国の家きん由来製品の輸出停止状況については、以下のページよりご確認ください。

URL：https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html

☆動物用医薬品副作用報告（令和7年3月）

(1/1)

産業動物における動物用医薬品副作用に関する報告（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10）

製品名	ポーシリス PCV M Hyo
製造販売業者名	MSD アニマルヘルス株式会社
動物種	豚
発現動物数／投与動物数	1 / 30
性	オス
年齢	不明
投与前の健康状態	不明
以前の使用歴	なし
以前使用時の副作用の有無	なし
投与量	2mL
投与方法	筋肉内注射
投与日	R7.10.8
副作用発現日	R7.10.22
副作用の種類	死亡
治療の有無	無処置
転帰	死亡
担当獣医師による評価	因果関係は不明。
製造販売業者による評価	死亡は製品投与後14日後に認められたため、本製品と症状の時間的な関連性は弱い。また、診断や剖検は報告されていない。本製品との関連性を否定できないが、他の病因も除外できない。

☆家畜衛生レポート (栃木県より)

となっています。

栃木県県南家畜保健衛生所

1 栃木県の概況

当県は、関東平野の北部に位置し、緑豊かな山々と広大な平野に恵まれた地域です。また、広大な農地と良質で豊かな水資源を活かし、農業や畜産業も非常に盛んです。特に、日本一の「いちご」をはじめ、米や生乳、にらなどの生産が盛んであり、首都圏の食料供給基地として重要な役割を果たしています。農業産出額は2,959億円（令和5年）で、全国10位です。その中でも、畜産物の生産額は増加傾向にあり、県の農業総生産額の約50%を占めています。特に生乳の生産は全国第2位を誇り、肉用牛は全国第6位、豚は全国第10位、採卵鶏は全国第7位

2 沿革及び管内の概要

当県には、県央（宇都宮市）、県南（栃木市）、県北（那須塩原市）の3か所の家畜保健衛生所があります。当所は、昭和26年に「栃木家畜保健衛生所」として設置され、平成12年に組織改編で「県南家畜保健衛生所」と改称されました。平成20年に新築移転して、現在に至ります。県南部の5市2町を管轄区域とし、西は群馬県、東は茨城県、南は埼玉県に隣接しており、県境を越える家畜及び畜産関係者の往来が盛んなことから、特に県境防疫に留意しながら業務の推進を図っています。

正職員は、獣医師10名、行政職1名の計11名で、他に会計年度任用職員2名（臨床検査技師1名、事



務補助員1名)が配置されています。特定家畜伝染病に関する業務を行う防疫第一課、家畜防疫や獣医事・動物薬事等の業務を行う防疫第二課の2課体制で運営しています。

管内の家畜飼養状況は表に示すとおりです。管内は首都圏に近いことから都市化が進み、飼養者の高齢化とともに、飼養戸数、頭数とも減少傾向にあります。そのような中、山羊は除草などの使役用のほか愛玩用として人気があり、平成27年の23戸82頭から令和6年は57戸265頭と、この10年で飼養戸数で約2.5倍、飼養頭数では約3倍に増加しています。

管内の家畜飼養状況（令和6年2月1日現在）

種類	農場数（戸）	飼養頭羽数（頭・羽）
乳用牛	41	2,078
肉用牛	96	14,229
豚	37	33,129
採卵鶏	87	226,728
肉用鶏	3	58,223
馬	14	307
山羊	57	265
めん羊	9	60

3 主な業務内容

当所では、「逆境に負けない畜産経営」を家畜衛生から支援」をキャッチフレーズに①家畜伝染病の発生予防とまん延防止 ②PRRS、EBLをはじめとする慢性疾病対策と清浄化推進 ③生産現場における飼養衛生管理基準の遵守と畜産物の消費・安全を推進 ④獣医師法、獣医療法、家畜改良増殖法、薬

機法の遵守指導に取り組んでいます。

このレポートでは、近年の取組み事例を中心に御紹介します。

(1) 養豚場の特定家畜伝染病対策

当県では、令和3年以降、豚熱が6例発生しており、令和5年2月には当管内でも発生がありました。周囲の宅地化が進む環境での防疫措置は、埋却地の選定や消毒薬の使用など、これまでの事例とは異なる地域住民対応の困難さがありました。防疫措置に対する地域の不安を払拭するため、現在も地下水の検査を継続して行い、安全・安心の確保に努めています。現在、県内最終発生から、ようやく1年が経過したところです。県ではさらなる発生を防止すべく、対策の強化を図っています。具体的には、過去の豚熱発生やリスク検証の結果を踏まえ、死亡豚の適正な処理や、農場内への小動物を介したウイルス侵入の防止策、さらに飼養衛生管理者や従業員への教育の徹底を一層推進しています。

当所ではその一環として、昨年度、外国人従業員向けに多言語の注意喚起標識を作成し、農場に



写真1：外国語資料を使った従業員勉強会

配布しました。併せて、視覚的に伝わりやすいようイラストや図、写真、動画を活用した外国人従業員向けの勉強会を実施し、農場全体の衛生意識の向上を図りました。

また、埋却予定地については、管内には地下水位が高い地域もあることから、農業振興事務所や市町村、建設業協会と連携し、適地性の現地調査を行い、実施方法を含めて検討を重ねています。

(2) めん羊・山羊飼養農場への指導

先述のとおり、愛玩用の山羊の飼養が顕著に増加していることから、昨年度、当県初めての試みとして、飼養衛生管理の理解向上を目的とした山羊・めん羊飼養者向けの講習会を開催しました。事前に行ったアンケート等の結果に基づき、定期報告や特定家畜伝染病などを含めた「家畜伝染病予防法及び飼養衛生管理基準」「めん羊・山羊の生態生理や代表的な疾病と日頃の健康管理のポイント」などを説明しました。

飼養衛生管理に関する既存の資料は、主に牛の農場向けに作成されていたため、めん羊・山羊の愛玩飼養者にもわかりやすいよう内容を工夫した資

料を作成しました。その結果、参加者による活発な意見交換が行われ、学びの場としてだけでなく、飼養者同士の情報交換の場を提供することができました。

4 最後に

当県の豚熱等発生に伴う防疫措置に御協力いただいた、国、各都道府県及び関係団体の皆様には、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

栃木県は日光や那須といった自然豊かな地域に加え、世界遺産の日光の二社一寺や、国内最古の総合大学と称される足利学校など、歴史と文化の宝庫です。長い歴史と伝統を持つ“とちぎ”の魅力を是非、観光で訪れて味わってください。皆さまのお越しをお待ちしております。



写真2：めん羊・山羊の飼養衛生管理に関する講習会

毎週月曜日発行

家 畜 衛 生 週 報

編集・発行：農林水産省消費・安全局
畜水産安全管理課、動物衛生課

☎03(3502)8111 内線 4581

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

家畜衛生週報 令和7年 第77巻(No.3835 ~ 3883)総目次

【会議】

- 茨城県における高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3836-13
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3836-14
- 岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3836-15
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内23及び24例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3837-19
- 宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3837-20
- 岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3837-21
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3837-22
- 千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3838-25
- 千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3838-27
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3838-28
- 千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3838-29
- 千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内32例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3839-35
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内33-36例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3839-36
- 千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内37-39例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3839-37
- 愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内40例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3839-38
- 岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内41、42例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………3839-39

群馬県における豚熱の患畜の確認（国内95例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3840－41	千葉県における豚熱の患畜の確認（国内97例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3848－105
千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内43例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3840－42	群馬県における豚熱の患畜の確認（国内98例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3849－113
千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内44例目から46例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3840－44	群馬県における豚熱の患畜の確認（国内99例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3853－145
千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内47例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3840－45	群馬県における豚熱の患畜の確認（国内100例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3873－305
愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内48例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3840－46	北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について……………	3875－321
千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内49、50例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3841－49	北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内2例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3878－345
千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内51例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3842－57	新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内3例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3878－346
群馬県における豚熱の患畜の確認（国内96例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3843－67	新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内4例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3879－353
		宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内5例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………	3881－369

鳥取県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内6例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について……………3882－378	香港向け家きん由来製品の輸出再開について（岩手県）……………3846－89
【家畜衛生概況】	千葉県銚子市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内28、29例目）に係る移動制限の解除について……………3846－90
香港向け家きん由来製品の輸出再開について（島根県、新潟県及び香川県）……………3836－13	香港向け家きん由来製品の輸出再開について（愛知県）……………3847－97
香港向け家きん由来製品の輸出再開について（宮城県、北海道及び岐阜県）……………3837－17	オーストリア産偶蹄類由来製品等の輸入一時停止措置について……………3847－99
香港向け家きん由来製品の輸出再開について（埼玉県）……………3837－18	家畜衛生情報 令和6年（1～12月分）……………3847－100
ドイツ産偶蹄類由来製品等の輸入一時停止措置について……………3838－26	香港向け家きん由来製品の輸出再開について（千葉県）……………3850－121
ベルギーからの家きん肉等の輸入一時停止措置について……………3842－59	宮崎県における野生イノシシの豚熱感染事例の確認について……………3850－122
香港向け家きん由来製品の輸出再開について（愛媛県、鹿児島県及び宮崎県）……………3843－65	台湾向け牛肉の月齢制限撤廃について……………3854－153
アルゼンチンからの家きん肉等の輸入一時停止措置について……………3843－66	ブラジルからの生きた家きん、家きん肉、食用生鮮殻付卵等の輸入一時停止措置について……………3854－154
香港向け家きん由来製品の輸出再開について（茨城県）……………3844－73	鶏用遺伝子組み換え生ワクチンの第一種使用等に関する審査結果についての意見・情報の募集（パブリックコメント）について……………3854－155
ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉の米国への輸出停止措置の解除について……………3844－74	アルゼンチンからの家きん肉等の輸入一時停止措置の解除について……………3855－161
ハンガリー産及びスロバキア産偶蹄類由来製品等の輸入一時停止措置について……………3845－81	ニュージーランドからの生きた家きん、家きん肉等の輸入一時停止措置の解除について……………3859－193
コロンビアからの家きん肉等の輸入一時停止措置の解除について……………3845－83	イタリア産牛由来製品等の輸入一時停止措置について……………3859－194
ランピースキン病ワクチン接種都道府県（福岡県）由来の牛肉の米国への輸出再開について……………3846－89	高病原性鳥インフルエンザの清浄化宣言について……………3860－201

フランス産牛由来製品等の 輸入一時停止措置について……………3860－202	新潟県で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内3例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3879－355
日中動物衛生検疫協定の発効……………3863－225	
アルゼンチンからの家きん肉等の 輸入一時停止措置について……………3863－226	ドイツ産牛肉等の 輸入一時停止措置の解除について……………3879－356
スペインからの家きん肉等の 輸入一時停止措置について……………3863－226	ブラジルからの生きた家きん、家きん 肉等の輸入一時停止措置の解除につ いて……………3879－357
ベルギーからの家きん肉等の 輸入一時停止措置の解除について……………3864－233	鹿児島県における野生イノシシの豚熱 感染事例について……………3880－361
高病原性鳥インフルエンザに係る防疫 措置に御協力いただいた自衛隊への 農林水産省大臣感謝状の交付につ いて……………3868－265	新潟県で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内4例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3880－362
デンマークからの家きん肉等の 輸入一時停止措置の解除について……………3870－281	北海道白老町で発生した高病原性鳥イ ンフルエンザ（国内1例目）に係る 移動制限の解除について……………3881－371
クウェート向け日本産牛肉の輸出解禁 について……………3872－297	宮崎県で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内5例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3881－372
スペイン産牛由来製品等の 輸入一時停止措置について……………3874－313	
デンマークからの家きん肉等の 輸入一時停止措置について……………3875－322	スペインからの豚肉等の 輸入一時停止措置について……………3882－377
スウェーデンからの生きた家きん、家 きん肉等の輸入一時停止措置につ いて……………3876－333	北海道恵庭市で発生した高病原性鳥イ ンフルエンザ（国内2例目）に係る 移動制限の解除について……………3882－379
北海道で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内1例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3877－337	ベルギーからの家きん肉等の 輸入一時停止措置について……………3882－380
北海道で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内2例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3879－354	鳥取県で確認された高病原性鳥インフ ルエンザの疑似患畜（国内6例目） の遺伝子解析及びNA亜型の確定につ いて……………3883－385

新潟県胎内市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内3例目、4例目）に係る移動制限の解除について……………3883－386	動物用医薬品副作用報告 （令和7年1月）……………3848－110
【獣医事・小動物獣医療】	動物用医薬品副作用報告 （令和7年3月）……………3852－137
獣医師法第22条に基づく届出のお知らせ……………3836－10	動物用医薬品副作用報告 （令和7年4月）……………3856－169
獣医師国家試験における不正受験者の 受験禁止処分について……………3844－73	動物用医薬品再審査結果通知……………3856－170
第76回獣医師国家試験（令和6年度） の結果について……………3845－82	動物用医薬品副作用報告 （令和7年5月）……………3857－177
第4回愛玩動物看護師国家試験及び 予備試験の実施について……………3851－129	動物用医薬品副作用報告 （令和7年6月）……………3861－211
外国の獣医学校を卒業し、又は外国で 獣医師の免許を得た物の獣医師国家 試験等の受験資格認定に係る申請手 続……………3851－133	動物用医薬品再審査結果通知……………3863－227
外国の獣医学校を卒業し、又は外国で 獣医師の免許を得た者の獣医師国家 試験等の受験資格認定に係る申請手 続……………3876－329	動物用医薬品副作用報告 （令和7年7月）……………3868－266
第4回愛玩動物看護師国家試験の 受験申込期間の延長について……………3881－373	動物用医薬品副作用報告 （令和7年8月）……………3872－299
R7年度獣医関係大学卒業者就職 状況調査の結果……………3883－387	動物用医薬品副作用報告 （令和7年9月）……………3876－332
【動物薬事】	動物用医薬品副作用報告 （令和7年10月）……………3879－358
動物用医薬品副作用報告（令和6年11 月）副作用報告システムからの報告、 新様式（eMAFF）による報告……………3838－30	【飼料】 飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について（令和6年6月）……………3837－23
動物用医薬品再審査結果終了報告 （令和6年12月～令和7年1月）……………3840－48	飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について（令和6年7月 －令和6年10月）……………3846－93
動物用医薬品副作用報告（令和6年12 月）副作用報告システムからの報告、 新様式（eMAFF）による報告……………3844－75	飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について（令和6年11月）……………3862－217

飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について (令和6年12月)・・・3864-234	病性鑑定部における生化学部門の精度 管理体制の構築 (大分県)……………3860-203
飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について (令和7年1月)・・・3865-241	新たな豚熱ワクチン接種部位の検討 (東京都)……………3864-234
飼料安全法に基づく収去飼料等の試験 結果の公表について (令和7年2月)・・・3866-250	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (京都府)……………3865-246
飼料安全法に基づく収去資料等の試験 結果の公表について (令和7年3月)・・・3867-257	福岡県における野生イノシシの豚熱感 染事例について……………3866-249
【調査・研究成績】	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (山梨県)……………3867-258
第65回全国家畜保健衛生業績発表会 (山口県)……………3841-50	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (島根県)……………3869-275
第65回全国家畜保健衛生業績発表会 (福島県)……………3845-83	連続飼育農場を含む一地域で多発した 鶏伝染性喉頭気管炎の対策……………3870-283
第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (神奈川県)……………3848-106	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (徳島県)……………3871-289
第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (新潟県)……………3849-114	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (千葉県)……………3872-300
SalmonellaDublin 発生農場における保 菌牛検出方法の検討 群馬県中部家 畜保健衛生所……………3850-123	第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (愛知県)……………3873-306
伝染性ファブリキウス囊病ウイルスの ワクチン類似株検出農場対応事例……………3853-147	第66回全国家畜保健衛生業績発表会の 概要……………3874-314
採卵鶏育雛場で発生した鶏伝染性気管 支炎 (腎炎型)……………3855-161	第66回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (愛媛県)……………3883-389
第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (石川県)……………3856-170	【講習会・研究会・検討会】
第65回全国家畜保健衛生業績発表会演題 (福岡県)……………3857-181	第65回獣医疫学会学術集会……………3836-12
肉用牛農場における牛ボツリヌス症に よる大量死事例 (奈良県)……………3858-185	「オンラインシンポジウム —豚熱研究の最前線—」開催案内……………3839-33

創設20周年記念シンポジウム ・第15回シンポジウム開催概要……………3852-142	家畜衛生レポート（高知県）……………3860-206
第66回獣疫学会学術集会 （シンポジウム）のご案内……………3859-199	家畜衛生レポート（大分県）……………3861-214
第80回九州・山口病性鑑定協議会の 開催報告……………3862-218	家畜衛生レポート（香川県）……………3862-222
第15回家畜感染症学会学術集会……………3875-322	家畜衛生レポート（大阪府）……………3863-227
動物分野における薬剤耐性ミニセミ ナーのお知らせ（畜水産安全管理課 薬剤耐性対策班）……………3877-338	家畜衛生レポート（長野県）……………3863-230
【家畜衛生レポート】	家畜衛生レポート（滋賀県）……………3864-238
家畜衛生レポート（新潟県）……………3841-53	家畜衛生レポート（長崎県）……………3865-242
家畜衛生レポート（和歌山県）……………3843-68	家畜衛生レポート（奈良県）……………3865-244
家畜衛生レポート（富山県）……………3846-91	家畜衛生レポート（大阪府）……………3866-253
家畜衛生レポート（三重県）……………3849-118	家畜衛生レポート（福岡県）……………3867-260
家畜衛生レポート（石川県）……………3851-130	家畜衛生レポート（青森県）……………3867-262
家畜衛生レポート（福井県）……………3852-140	家畜衛生レポート（京都府）……………3868-269
家畜衛生レポート（岐阜県）……………3854-157	家畜衛生レポート（佐賀県）……………3869-273
家畜衛生レポート（広島県）……………3855-165	家畜衛生レポート（山口県）……………3870-286
家畜衛生レポート（島根県）……………3857-178	家畜衛生レポート（熊本県）……………3871-292
家畜衛生レポート（愛知県）……………3858-189	家畜衛生レポート（愛媛県）……………3871-294
家畜衛生レポート（和歌山県）……………3859-194	家畜衛生レポート（山形県）……………3872-302
家畜衛生レポート（大阪府）……………3859-197	家畜衛生レポート（大分県）……………3873-309
	家畜衛生レポート（愛知県）……………3874-315
	家畜衛生レポート（宮城県）……………3874-318

家畜衛生レポート (石川県).....	3875 - 323	一年生だより (動物衛生課査察調整班)....	3843 - 70
家畜衛生レポート (北海道).....	3875 - 326	【募集開始!】令和7年度 「家畜衛生ポスターデザインコンテス ト」.....	3861 - 209
家畜衛生レポート (三重県).....	3877 - 340		
家畜衛生レポート (秋田県).....	3878 - 350	いわて門崎丑牧場有限会社における 牛トレーサビリティ法の違反に対す る措置について.....	3872 - 298
家畜衛生レポート (岩手県).....	3880 - 363		
家畜衛生レポート (茨城県).....	3880 - 365	薬剤耐性に関する影響度調査実施の お知らせ (薬剤耐性対策班).....	3876 - 334
家畜衛生レポート (新潟県).....	3881 - 373		
家畜衛生レポート (長野県).....	3882 - 381		
【各班だより】			
各班だより (畜水産安全管理課 牛トレーサビリティ企画班).....	3866 - 251		
各班だより (粗飼料対策班).....	3868 - 268		
各班だより (小動物獣医療班).....	3870 - 282		
各班だより (愛玩動物用飼料対策班).....	3878 - 347		
【その他】			
年頭に当たって (畜水産安全管理課長 挨拶).....	3835 - 1		
年頭に当たって (動物衛生課長挨拶).....	3835 - 4		
鶏用遺伝子組換え生ワクチンの第一 種使用等に関する審査結果について の意見・情報の募集 (パブリックコ メント) について.....	3842 - 60		
「令和7年度安全な農畜水産物安定供給 のための包括的レギュラトリーサイ エンス研究推進委託事業のうち短期 課題解決型研究」の公募.....	3842 - 63		